

展覧会情報

この秋以降開催される地図・地理・歴史に関する展覧会・展示会等についてお知らせします。

古地図の世界 江戸から明治の日本人の日本観

会場：岐阜県図書館世界分布図センター

電話058-275-5111

会期：2005年2月4日～2月28日

アメリカ伊能大図里帰りフロア展

会場：日本大学文理学部(全国展示)

電話03-3329-1151

会期：12月4日～12月23日

会場：幕張メッセアリーナ(全国展示)

電話043-296-0001

会期：1月22日～1月23日

蘆田文庫特別展

会場：明治大学博物館

電話03-3296-4448

会期：2004年11月10日～12月19日(世界図編)

よみがえる兵庫津 港湾都市の命脈をたどる

会場：神戸市立博物館

電話078-391-0035

会期：2004年10月30日～12月26日

10回児童生徒地図作品展

会場：岐阜県図書館世界分布図センター

電話058-275-5111

会期：2004年10月30日～12月26日

平成16年度第4回街歩きマップコンテスト受賞作展示会

会場：国土地理院地図と測量の科学館

電話029-864-1872

会期：2004年11月23日～12月26日

平成16年度第1回巡検 「下町を歩く 両国～門前仲町(仮称)」

平成16年度第1回見学会(巡検)は、江戸情勢の残る下町、両国～門前仲町界隈を散策します(コース詳細は未定)。

開催日：平成17年1月15日(土)、荒天時は22日

集合：JR総武線「両国駅」西口改札外

時間：10時集合、16時頃解散予定

ご案内：鶴飼幸雄先生

コース：大相撲初場所の櫓太鼓をバックに隅田川沿いに南下。「芭蕉記念館」など松尾芭蕉ゆかりの跡をたどります。清澄庭園で休憩。深川江戸記念館、深川不動尊、富岡八幡宮なども見学する予定で、門前仲町で解散します。

参加費：1,000円(予定)(地図・資料代・入館料含む)。集合場所までと、ご帰宅の交通費および昼食代は自己負担です。

参加申し込みは**1月7日**まで、電話、FAX、E-mailで。1月初旬にご案内ハガキをお送りしますので、ご住所、お電話番号をお知らせ下さい。定員20名とさせていただきます。お早めに。

当日は歩きやすく、寒さをしのげる服装でおいで下さい。

荒天による開催のお問い合わせは、参加者にお送りするご案内ハガキをご覧ください。



芭蕉記念館入口

地図絡み

第19回 図に引かれた赤い線 —軽井沢のばあい—

井口悦男(帝京大学講師)

地形図の道に沿って引かれた赤い線をよく見掛ける。自分の通った所を記入すること、あるいはこれから出掛けるコースを入れることは珍しくない。図示した「軽井沢」図は、集めた古い地図の中で細かく赤い線の入った例である。地図として記入の多いものはないが、一方他人の軌跡が確かめられる利点がある。観光地、登山などのコースとして参考になる。

それはともかく、旧軽井沢集落を中心に縦横に入れられた赤い線は見事といえる。このようにはなかなかならないものである。ここに何度訪れた結果であろうか。軽井沢周辺の現在と同じポイントに訪れているのみならず、宿場町の北側や南側を細かく歩んでいる。その時は記入されていないので、推定する外ないが、大正元(1911)年測の5万分1初版図に見られることで、発行された同4年から次の発行図、大正5年鉄道補入図の同7年迄のことと考えられる。ただし、広く見れば大正元年測図描の続いた、昭和4年要部修正図が刊行された昭和7年迄ともいえる。

当時の別荘地分布は、この図で赤い線の広がり密な、旧軽宿場南北であり、軽井沢駅から三笠の方に向かう道の西側、現在旧ゴルフ場のある方面には、ゴルフ場を含め及んでいなかったことが図から分かる。

そして、この図に赤い線を入れた方は、浅間山に登山するとともに鬼押し出熔岩流を訪れ、一方、旧道峠にも中山道経由のほか熊ノ平駅から旧坂を上って、県境道を旧軽に向かっているというぐあいに、いわゆる碓氷の険にきめ細かい。

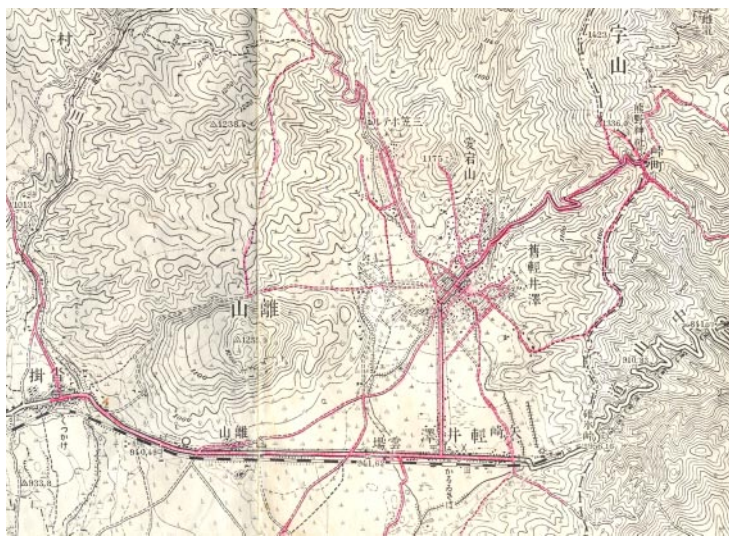
現在ならば、駅から旧軽への西側、雲場、離山方面の道にも赤い線が細かく入ったにちがいない。当時は、道の分布も僅かである。

この辺で、図に赤い線を入れることを少々考えてみよう。目立つ色の線を引くこと、記憶あるいは記念に、良い方法である。ただし、完結した作品の



別荘地のしゃくなげ—旧ゴルフ場近くの森の中(04.5.4)

図に加筆するには、下敷の図の機能を妨害しないことが原則となる。赤が目立つからと赤インクを使うことは避けたい。乾いても水に濡らすと、にじむ欠点があり、描いた線が崩れるばかりか図が台無しになる。色鉛筆では水濡れに溶け出すこともないが、描いた線を消すには力を要するので、下地の印刷を削ることになる。まったく印刷地に影響なしとはいえないが、普通の鉛筆によるのが一番良い。わざわざ消さない限り長く安定して残ってくれる。(04.10.17)



5万分1「軽井沢」大正元年測 陸測

ICIC ニュース Vol.9 No.3 通巻 31 号

発行年月日：2004年(平成16年)11月30日

編集・発行：財団法人 地図情報センター

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-5

神保町センタービル5階

TEL.03-3262-1486 FAX.03-3234-0872

<http://www.soc.nii.ac.jp/icic/>
E-mail icic_map@yahoo.co.jp